

脊椎圧迫骨折

高齢者の骨折の中でも最も多い骨折のひとつで、骨粗鬆症を患った方に大変多く見られます。若い人でも運動や事故による外傷で骨折する場合がありますが、稀なケースです。

稀に骨折した骨片が脊髄神経を圧迫してしまい麻痺を引き起こす遅発性脊髄神経麻痺を併発する場合がありますので大変注意が必要です。

原因

尻もちをなどで脊椎に外力が加わり、その圧力で骨折します。圧迫骨折は、骨粗鬆症がひどくなると、布団の上げ下げ、草ぬき、咳やくしゃみなどでも起きます。しかし、特に原因がない骨折も約半数あります。

治療方法

骨折部にとって良い姿勢で体幹をギプスで固定し、体を曲げることができないようにします。

図は、胸椎の下の方～腰椎の上が骨折したときのギプス例です。

ポイントは着脱可能で、骨のどおりなど体に合わせて作っていることです。

他にも上肢の運動や呼吸・食事がしにくくないように様々な工夫がしてあります。



症状に合わせて硬性もしくは軟性コルセットを自分の体に合わせて採型し、装着します。

高齢者の方で脊椎骨折をされた方は、同時に骨粗鬆症の薬物治療を勧めています。